

2016年5月下旬
発売

廃村をゆく 2

～往時の面影を求めて

著者 浅原昭生
Team HEYANEKO 代表

発行 イカロス出版
(イカロス MOOK)

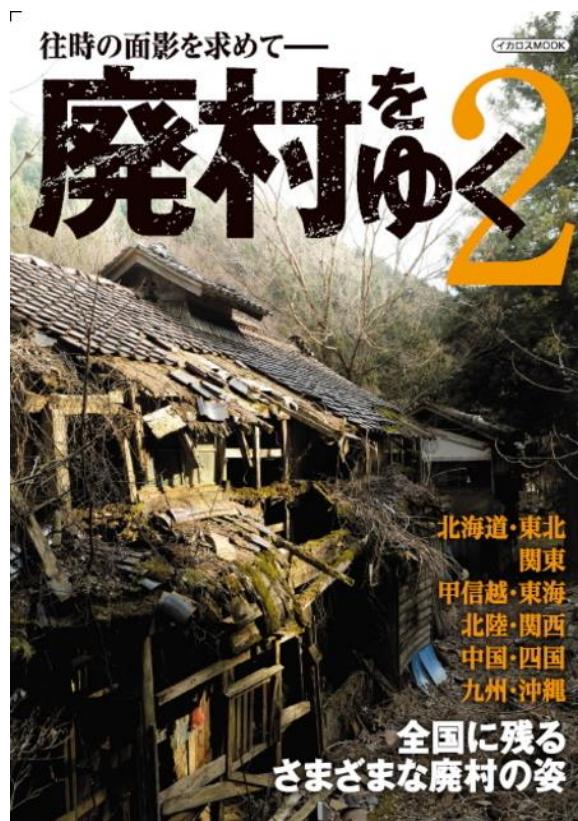
定価 1,738 円 (10%税込)

B5 判・112 ページ
(本文カラー100 ページ)
ISBN 4-8022-0168-1

さまざまな理由から戸数が減り、ついには人が住まなくなった集落、すなわち「廃村」は日本全国に人知れず点在している。高度経済成長期を経て、ついに人口減少時代に突入した日本。それは時代の必然ともいえる。しかし、そこには往時の面影が残り、そこを故郷とする人々がいる。

本書は北海道・東北から九州・沖縄まで、地方を 6 つに分けて、31 地区の特色ある「廃村」を取り上げている。産業別には、農山村、戦後開拓集落、鉱山集落、営林事業集落、炭鉱集落、離島集落（離島の農村＋漁村）、その他の 7 つに分類している。

かつての活気ある村の姿に着目し、静かに時を刻むその地に想いをはせよう。



《収録集落》(全 31 地区・37 ヲ所)

北海道夕張市鹿島、和寒町東和開拓、雄武町上幌内、むかわ町累標沢

宮城県大和町嘉太神・升沢、大館市合津
東京都八丈町宇津木・鳥打、栃木県鹿沼市梶又、埼玉県秩父市小倉沢、群馬県上野村本谷、嬬恋村小串

長野県伊那市芝平、飯山市查津、新潟県魚沼市大平、静岡県浜松市天竜区有本、岐阜県揖斐川町鶴見・東杉原

富山県南砺市北原・長崎、福井県南越前町大河内、大野市中島・上笹又

和歌山県田辺市兵生、滋賀県東近江市茨川
鳥取県鳥取市杉森・板井原、山口県岩国市向畑

徳島県美馬市空野、高知県香南市仲木屋、愛媛県四国中央市中之川

長崎県長崎市端島、大村市箕島、宮崎県西都市片内（本流瀬）、大分県佐伯市傾山

沖縄県伊是名村具志川島